

バリアフリー事例集

令和6年12月

奈良市

1 事例集の作成にあたって	1-1
1.1 奈良市バリアフリー基本構想の改定	1-1
1.1.1 奈良市バリアフリー基本構想とは	1-1
1.1.2 基本理念と取組方針	1-1
1.2 事例集の作成	1-2
1.2.1 事例集作成の目的	1-2
1.2.2 事例収集の視点	1-2
2 事例集	2-1
2.1 はじめに（比較的短期で導入しやすいと考えられる取組について）	2-1
2.2 事例の見方	2-3
2.3 事例集	2-4

1 事例集の作成にあたって

1.1 奈良市バリアフリー基本構想の改定

1.1.1 奈良市バリアフリー基本構想とは

奈良市バリアフリー基本構想は、高齢者や障害者（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・内部障害をはじめとする身体障害者や知的障害者、精神障害者、発達障害者を含む、全ての障害者）、妊産婦、子育て世代、外国人等すべての方々に対するバリアフリー上の課題を改善し、だれもが暮らしやすい環境整備を図ることを目的として、2014年（平成26年）3月に策定しました。

この基本構想は、地域住民である障害者等、当事者参画のもと、奈良市全体のバリアフリー化に対する方向性を示すとともに、駅を中心とした地区や、高齢者・障害者等が利用する旅客施設や官公庁施設等多様な施設（「生活関連施設」）が集積している地区において、公共交通機関、道路、路外駐車場、都市公園、建築物等について、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進するものです。本市の国際文化観光都市としての特性等を十分に踏まえた上で、観光の振興に寄与するという視点も盛り込み、地域住民とともに実現可能でオリジナリティのあるバリアフリー施策を展開し、継続的かつ発展性のある基本構想としています。

しかし、策定から年月が経過しており、最新の施設状況に合わせた見直しが必要であるため、2023年（令和5年）から奈良市バリアフリー基本構想の改定を進めており、年次的に市内の全駅周辺を重点整備地区とすることで、本市のさらなるバリアフリー化を推進します。

1.1.2 基本理念と取組方針

本市では2020年（令和2年）に「奈良市ユニバーサルデザインマスタープラン」を策定しており、その中でバリアフリー法や社会情勢の変化を踏まえ、基本理念と取組方針を定めています。

基本理念

だれもがいきいき暮らし、気軽に出かけられる古都奈良
～安全・安心で快適な生活と観光の共生を目指して～

取組方針

①ユニバーサルデザインの考え方に沿ったまちづくり

高齢者や障害者（身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者を含む、全ての障害者）、妊産婦、子育て世代（子どもも含む）、けが人等が、分け隔てなく社会参加を行うことができる環境づくりを目指します。

また、上記の方々に加え、外国人も含めて、国内外のだれもが訪れやすい、訪れたくなるような、「ユニバーサルデザイン」の考え方に沿った、国際文化観光都市としてふさわしい環境づくりを目指します。

②奈良の魅力を高めるバリアフリーの推進

景観や歴史的価値とバリアフリーを両立させ、性別や年齢、障害の有無、文化の違い等を超えて、より多くの方が気軽に来訪し、奈良の魅力に触れていただくことができる、古都奈良の魅力をさらに高めるまちづくりを目指します。

③みんなで取り組むバリアフリー社会の実現

障害がある方々をはじめ、だれもが社会に参加できる環境を実現するため、個人も事業者も当事者も、みんなで出来ることから取り組むことで、まち全体でバリアフリー化を図ります。

まちなかの道路や店先の段差等のハードの改良だけでなく、おもてなし・接遇・人による介助といったソフトの対応も含めて、1 つずつできることから改良し、だれをも迎え入れ、見守ることができるバリアフリー社会の実現を目指します。

④思いやりの精神をはぐくむこころのバリアフリーの推進

ひとりひとりが高齢者や障害者等への理解を深め、困ったときには自然に助け合える“心のバリアフリー”を推進し、お互いに支え合い、だれもが同様に尊重しあう、思いやりの精神をはぐくんでいきます。

1.2 事例集の作成

1.2.1 事例集作成の目的

奈良市では、高齢者や障害者、妊産婦、子育て世代、外国人等を含め、だれでも安全に安心して参拝や観光を快適に楽しめるように、各施設管理者の創意工夫のもと、ハード・ソフトの両面から寺社仏閣や観光施設等のバリアフリー化に積極的に取り組んでおります。

しかし、奈良市には文化財保護法により現状変更に対して規制がかかる歴史的な建造物等、特にハード面からのバリアフリー化の推進が容易ではない施設も多く見られます。

そのため、各施設管理者がバリアフリー化に取り組む際の参考となるよう、ハード・ソフトの両方について先進的な取組をされているバリアフリー整備の水準の高い施設や、整備の難しい施設において創意工夫のもとバリアフリー化を図った施設（寺社仏閣や観光施設等）に関するバリアフリー事例を作成することといたしました。バリアフリー事例集を作成・活用することにより、バリアフリー化への取組の周知を図り、より多くの施設のバリアフリー化を目指します。

1.2.2 事例収集の視点

ソフト・ハードの両方の取組の収集

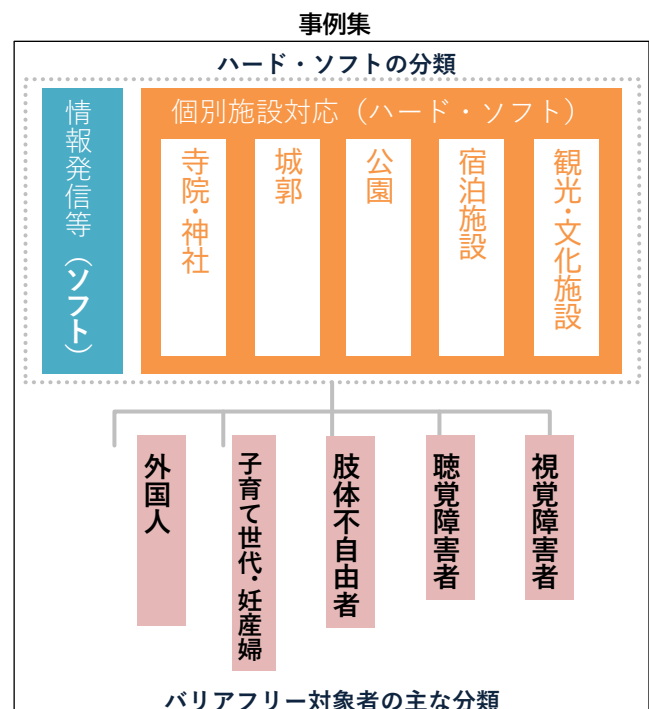
バリアフリー化の取組は、ソフト事業・ハード事業の2種類に分けられます。本事例集では、各事業者が施設の実情等に合わせて取組方を選択できるよう、これら両方の取組事例を収集します。

建築物の種別分類

特にハード系の取組については、各事業者が検索しやすいよう、建築物の種別で分類し、事例を収集します。

バリアフリー対象者の主な分類

本事例集で紹介する事例が、だれを対象としたバリアフリー対応であるのかを明示します。



2 事例集

2.1 はじめに（比較的短期で導入しやすいと考えられる取組について）

各施設のバリアフリー化を進めるにあたって、特にハード事業は整備期間含め、導入に時間を要することが想定されます。そこで、比較的短期で導入しやすいと考えられる取組について整理し、できるところからのバリアフリー化を促進します。

【車いすの貸出】

神宮（伊勢神宮）



写真提供：神宮司庁
※詳細は2-10ページを参照

元離宮二条城



写真提供：二条城
※詳細は2-38～2-39ページを参照

その他、以下施設でも車いすの貸出に取り組んでいます。

施設名	掲載ページ	施設名	掲載ページ
伊勢志摩バリアフリースターセンター	2-7	大泉緑地	2-43
平等院	2-25	なにわー水	2-49
善光寺	2-34	国立民族学博物館	2-54
松代城跡	2-40		

【多様な手段による情報提供（音声案内、点字板の設置等）】

大泉緑地



センサー式の音声案内
写真提供：大泉緑地
※詳細は2-42ページを参照

国立民族学博物館



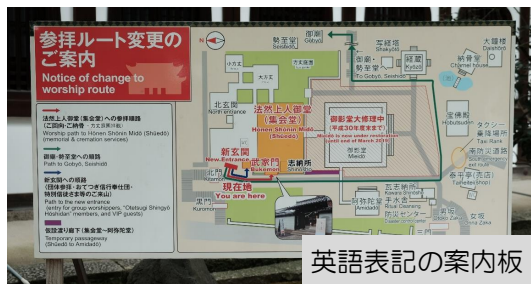
点字の館内案内図
※詳細は2-50～2-54ページを参照

その他、以下施設でも多様な手段による情報発信に関する取組を実施しています。

施設名（取組概要）	掲載ページ	施設名（取組概要）	掲載ページ
伊勢神宮（イラストマップの作成）	2-11	松代城跡（多言語表記の案内板の設置）	2-41
薬師寺（触れる模型、点字資料の設置）	2-16	コミュニティ嵯峨野 （フラッシュベルの設置、手話対応等）	2-45
龍安寺（触れる模型、点字資料の設置）	2-21	なにわー水（筆談器の貸出等）	2-49
二条城（触知図の作成）	2-39		

【外国人向けの情報提供（案内板の設置等）】

総本山知恩院



英語表記の案内板

※詳細は2-24ページを参照

松代城跡



多言語表記の案内板

写真提供：松代文化施設等管理事務所

※詳細は2-41ページを参照

その他、以下施設でも外国人向けの情報提供に関する取組を実施しています。

施設名（取組概要）	掲載ページ	施設名（取組概要）	掲載ページ
伊勢神宮（多言語マップの作成等）	2-11	姫路城（多言語表記の案内板の設置、アプリの作成等）	2-37
西本願寺（多言語表記の案内板の設置）	2-31	大泉緑地（ポケットークの設置）	2-43
善光寺（多言語表記の案内板の設置）	2-33	国立民族学博物館 （英語対応可能な職員の配置、多言語に対応した電子ガイドの設置等）	2-53～ 2-54

【その他（職員等によるサポート、バリアフリー研修等）】

国立民族学博物館



ボランティアガイドによるサポート

写真提供：国立民族学博物館

※詳細は2-51ページを参照

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター



バリアフリー研修

写真提供：伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

※詳細は2-6ページを参照

その他、以下施設でも外国人向けの情報提供に関する取組を実施しています。

施設名（取組概要）	掲載ページ	施設名（取組概要）	掲載ページ
東大寺（車いす・ベビーカー利用者の案内、サポートの実施）	2-12	大泉緑地（ボランティアグループとの連携）	2-43
平等院（館内での声掛けの徹底等）	2-25		

2.2 事例の見方

施設・団体等の名称

取組の特徴

所在地

特定非営利法人 伊勢志摩バリアフリースターセンター

三重県鳥羽市

視 聴 肢 子 外

取り上げた取組
のバリアフリー
化の対象者

【利用者一人ひとりの希望の実現に向けた取組】

- ◆ **日本初のバリアフリースターセンター**
日本で初めての常駐による現地でのバリアフリー旅行に関する相談を行うバリアフリースターセンターとして、日本一のバリアフリー観光地づくりを目指して、三重県を訪れる障害者・高齢者へのバリアフリー旅行情報の提供と相談や、地元観光事業者へのアドバイスに取り組んでいる。
- ◆ **「行けるところ」よりも「行きたいところ」へ行ける旅の実現**
サイトでの情報提供は、独自に開発した「パーソナルバリアフリー基準」の考え方に沿って、バリアフリーな施設だけでなくバリアが多い施設の情報もありのまま提供し、旅行者自身が行けるかどうかを判断できるようにしている。また、旅の楽しさを伝えつつ、「したい」旅行が叶うよう旅行のアドバイスを行っている。
- ◆ **「専門員」による「身体が不自由な観光客の視点」からのバリアフリー調査**
スタッフとともに三重県内の障害者を含む「専門員」と呼ばれる調査スタッフが宿泊施設や観光施設に実際に出向き、「身体が不自由な観光客の視点」でバリアフリー調査を行っている。

【魅力紹介に重点を置いた観光バリアフリー情報誌の作成】

- ◆ 三重県の観光地について、施設の一般的なバリアフリー情報だけでなく、旅行者自身が行きたい場所を選べるよう、バリアを乗り越えてでも行きたくなるような観光スポットの魅力を掲載している。

取組の詳細




三重のバリアフリー情報誌「みえバリ」 写真提供：伊勢志摩バリアフリースターセンター

2.3 事例集

〈目次〉

施設名・団体名等	事例の対象者					ページ
	視	聴	肢	子	外	
	視	聴	肢	子	外	

情報発信・ソフト対応

・伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	視	聴	肢	子	外	p.2-5
・倉敷市 おもてなし処 (倉敷美観地区及びその周辺)	視	聴	肢	子	外	p.2-9

個別施設対応

寺院・神社						
・神宮（伊勢神宮）	視	聴	肢	子	外	p.2-10
・東大寺	視	聴	肢	子	外	p.2-12
・薬師寺	視	聴	肢	子	外	p.2-13
・南法華寺（壺阪寺）	視	聴	肢	子	外	p.2-17
・専修寺	視	聴	肢	子	外	p.2-19
・清水寺	視	聴	肢	子	外	p.2-20
・龍安寺	視	聴	肢	子	外	p.2-21
・浄土宗 総本山知恩院	視	聴	肢	子	外	p.2-22
・平等院	視	聴	肢	子	外	p.2-25
・住吉大社	視	聴	肢	子	外	p.2-26
・浅草寺	視	聴	肢	子	外	p.2-28
・東本願寺	視	聴	肢	子	外	p.2-29
・龍谷山 本願寺（西本願寺）	視	聴	肢	子	外	p.2-30
・善光寺	視	聴	肢	子	外	p.2-32
城郭						
・姫路城	視	聴	肢	子	外	p.2-36
・元離宮二条城	視	聴	肢	子	外	p.2-38
・松代城跡	視	聴	肢	子	外	p.2-40
公園						
・大阪府営 大泉緑地	視	聴	肢	子	外	p.2-42
宿泊施設						
・全国手話研修センター コミュニティ嵯峨野	視	聴	肢	子	外	p.2-45
・なにわー水	視	聴	肢	子	外	p.2-46
観光・文化施設						
・国立民族学博物館	視	聴	肢	子	外	p.2-50

特定非営利法人 伊勢志摩バリアフリースターセンター

三重県鳥羽市

視 聴 肢 子 外

【利用者一人ひとりの希望の実現に向けた取組】

◆日本初のバリアフリースターセンター

日本で初めての常駐による現地でのバリアフリー旅行に関する相談を行うバリアフリースターセンターとして、日本一のバリアフリー観光地づくりを目指して、三重県を訪れる障害者・高齢者へのバリアフリー旅行情報の提供と相談や、地元観光事業者へのアドバイスに取り組んでいる。

◆「行けるところ」よりも「行きたいところ」へ行ける旅の実現

サイトでの情報提供は、独自に開発した「パーソナルバリアフリー基準」の考え方に沿って、バリアフリーな施設だけでなくバリアが多い施設の情報もありのまま提供し、旅行者自身が行けるかどうかを判断できるようにしている。また、旅の楽しさを伝えつつ、「したい」旅行が叶うよう旅行のアドバイスを行っている。

◆「専門員」による「身体が不自由な観光客の視点」からのバリアフリー調査

スタッフとともに三重県内の障害者を含む「専門員」と呼ばれる調査スタッフが宿泊施設や観光施設に実際に出向き、「身体が不自由な観光客の視点」でバリアフリー調査を行っている。

【魅力紹介に重点を置いた観光バリアフリー情報誌の作成】

◆三重県の観光地について、施設の一般的なバリアフリー情報だけでなく、旅行者自身が行きたい場所を選べるよう、バリアを乗り越えてでも行きたくなるような観光スポットの魅力を掲載している。



三重のバリアフリー情報誌「みえバリ」 写真提供：伊勢志摩バリアフリースターセンター

【イベントの運営、アクティビティの開発】

◆マラソン大会における障害者専用コースの企画・運営

志摩市で開催されるマラソン大会「志摩ロードパーティ」にて、2009 年より 2.5 キロの障害者専用コース「バリアフリーパーティラン」の企画・運営を行っている。

また、2016 年からはお伊勢さんマラソン内「バリアフリーラン」の運営も行っている。

◆近鉄鳥羽駅前での地元密着型ボランティアの実施

鳥羽市との協働事業として、2008 年より「鳥羽駅ボランティアガイド 通称：駅ボラ」を実施。年 2 回、ゴールデンウィークとお盆の時期に近鉄鳥羽駅前で観光案内や車いす・ベビーカーの貸出、障害者・高齢者のお手伝いなど、地元密着した活動を継続的に実施している。

※これらのイベントには、多くの市民がボランティアとして参加しており、それらの運営にも手腕を振るっている。

◆観光事業所へのバリアフリーアドバイス

2002 年設立からの長年のノウハウを生かし、事業所向けのバリアフリー接遇研修のプログラムを構築。独自に作成したテキストを用い、現場の求めに応じた研修を行っている。また、設計士の資格を持つスタッフによるバリアフリー改修アドバイスも実施。予算を抑えつつ、本当に使えるバリアフリーを目指したプランの提案も行っている。



志摩ロードパーティ



お伊勢さんマラソン



鳥羽駅ボランティアガイド



バリアフリー改修アドバイス



バリアフリー研修

写真提供：伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

【特殊な車いすを含む移動補助用品等のレンタルの実施】

- ◆通常の車いすをはじめ、車いすの前輪を浮かせて引くことのできる「JINRIKI」、水陸両用車いす、ベビーカー等、観光に役立つ移動補助用品等の貸出を行っている。



どこでもチェア(無料レンタル車いす・ベビーカー)

鳥羽市内7か所で無料車いすやベビーカーの貸出を行っている。



JINRIKI

引っかかりやすい前輪を浮かせて引くことで、坂道や段差、積雪、砂利道などの悪路でもスムーズに移動することができる。



水陸両用車いす(ヒッポキャンブ)

タイヤを直接手で回すことで、利用者自身も操作できる。座面のあたりまで水に入ったら、そのまま水中に下りて海水浴を楽しめる。

水陸両用車いす(ランディーズ)

砂浜などの悪路でもそれほど力をかけずに移動が可能であるが、介助式のため、利用者自身が操作することはできない。バルーンタイヤのため、水中ではタイヤが完全に浮いてしまい、安定性がない。

写真提供：伊勢志摩バリアフリースーツアースセンター

【旅行を安心安全に楽しんでもらうためのサポート】

- ◆障害を持つ人たちに安心安全に旅行を楽しんでもらうため、旅行者の希望に応じて、入浴介助や福祉タクシー、視覚障害者の同行援護の手配なども行っている。

【伊勢神宮参拝をサポートする「伊勢おもてなしヘルパー」】

- ◆高齢や障害により歩行が困難な方の伊勢神宮参拝をサポートするため、2015年に伊勢志摩バリアフリースターセンターおよび地元の産官学6団体が連携し、有償ボランティア「伊勢おもてなしヘルパー」をスタート。
伊勢志摩バリアフリースターセンターは事務局を担い、ボランティアの研修、利用申し込みの受付からボランティアの派遣までを一括して担当している。
現在、約80名のボランティアが、砂利敷の参道での移動介助や、ご正宮前の階段での車いす運び上げ等のサポートを実施。今後は視覚障害者の参拝サポートにも対応すべく、2024年度からボランティア育成を進めている。



伊勢おもてなしヘルパー

写真提供：伊勢志摩バリアフリースターセンター

旅行業のルーツともいわれる御師による参拝や宿泊の世話、街道沿いの住民による手助けにより、数多くの参拝客が訪れてきた伊勢神宮を有する三重県では、「日本一のバリアフリー観光県づくり事業」として、県民、観光事業者、行政の協創によるバリアフリー観光の推進に取り組んでいる。

その中で、伊勢志摩でのバリアフリー観光推進の実績と、全国のバリアフリー観光地が採用する「パーソナルバリアフリー基準」の開発および指導者としての実績を持つ伊勢志摩バリアフリースターセンターでは、三重県全域の観光施設及び宿泊施設を対象に調査、アドバイスを行うとともに、障害のある旅行者からの相談を全県カバーして受けるなど、中心的な役割を担っている。

○問い合わせ先

特定非営利法人 伊勢志摩バリアフリースターセンター

三重県鳥羽市鳥羽一丁目 2383-13 鳥羽 1 番街 1 階

E-MAIL : iseshima@barifuri.com TEL : 0599-21-0550 FAX : 0599-21-0585



おもてなし処 (倉敷美観地区及びその周辺)

岡山県倉敷市

視 聴 肢 子 外

【バリアフリー促進策としての認定制度】

- ◆ 下記の項目のうち3項目以上のおもてなしに対応できる施設や店舗を「おもてなし処」として認定することで、施設のバリアフリー化を促進している。
- ◆ 「おもてなし処」では、バリアフリーやおもてなしの考え方、接遇に関する講習会を受講した「おもてなしマイスター※」が中心となって接遇を行っている。

認定項目一覧表

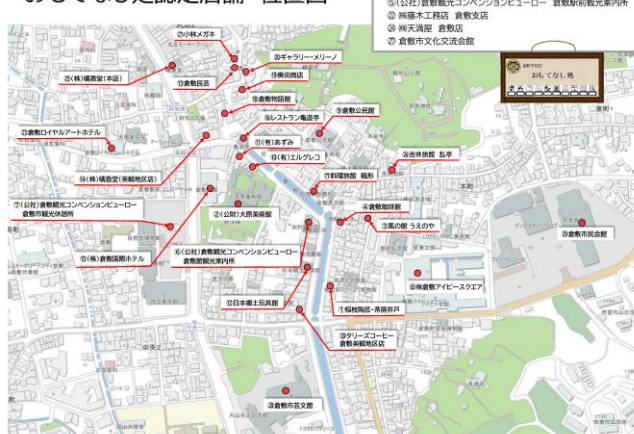
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの開放 ・ベンチ等を設置し、無料休憩ができる ・聴覚障害者対応可 ・視覚障害者対応可 ・乳幼児のオムツ換え、授乳ができる | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語対応可 ・補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）同伴可の表示 ・レンタル可能（車いす、ベビーカー等） ・事務所内を車いすで移動可 ・ホームページによる事前情報提供 |
|--|--|
- (別途必須項目として、美観地区や周辺で営業していること、おもてなしマイスターがおもてなし可能なことの条件を満たす必要あり)

※おもてなしマイスターとは、文化財保護の観点から施設のバリアフリー化が難しい倉敷美観地区等で、手助けを必要としている人に対して「おもてなし」ができる人材を育てる制度

【来訪者に対する情報発信】

- ◆ 認定されたおもてなし処については、ホームページ上での広報や、該当施設へのおもてなし処認定掲示物を掲示することにより、情報発信を行っている。

おもてなし処認定店舗 位置図



HP上のおもてなし処の紹介ページ

右側の絞り込み条件にチェックを入れると、該当するおもてなし処が地図上に表示され、さらに地図上のマークをクリックすると、施設名や提供しているサービスなどが表示される。

位置図：倉敷市都市計画部交通政策課提供

おもてなし処認定掲示物

おもてなし処の認定場所には掲示物が掲示されており、現地でおもてなし処を探している方が、目印にすることができる。



神宮（伊勢神宮）

三重県伊勢市

視 聴 肢 子 外

【参道用の車いすの貸出】

◆玉砂利の参道も通行しやすいタイヤの太い車いすを無料で貸し出ている。



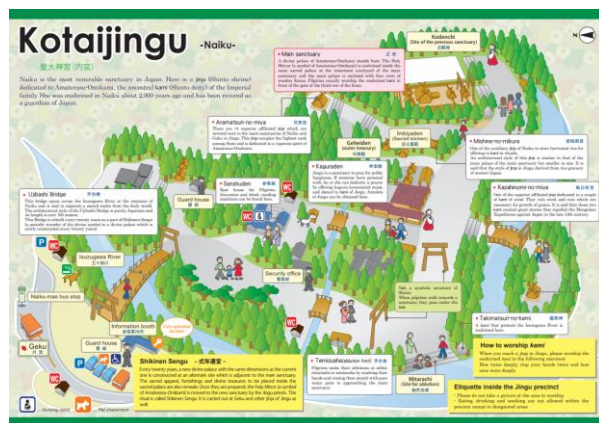
写真提供：神宮司庁

参道用の車いす

内宮・外宮の両宮で参道用の車いすの貸出を行っている。電動と手動の2種類がある。

【車いす利用者向けのイラストマップの作成】

- ◆申し出のあった参拝者に対し、内宮では参宮案内所及び内宮神楽殿、外宮では表見張所及び外宮神楽殿で提供している。
尚、車いす利用者向けや外国人用の各種マップ（英・中・韓・仏・独・伊）は神宮のホームページ上で公開している。



車いす利用者向け・外国人用各種マップ(神宮ホームページ)

【車いす対応トイレ、授乳室・オムツ交換台の設置】

- ◆内宮は表参道、裏参道、内宮神楽殿、参集殿に1基ずつ、外宮は表見張所前、自家用車駐車場、せんぐう館（入館者用として）に1基ずつ設置している。
また、車いす利用者向けのイラストマップにも図示している。
- ◆授乳室は参集殿に、オムツ交換台はそれぞれのトイレに設置している。



写真提供：神宮司庁

東大寺

奈良県奈良市

視 聴 肢 子 外

【車いすやベビーカーでも通行しやすい参道の整備】

- ◆主な参拝区域である南大門から大仏殿にかけての参道を、玉砂利から石敷きに改修し、車いすでの大仏殿の入口・出口へのアクセスを可能としている。



車いすやベビーカーでも通行しやすい参道

かつては玉砂利の参道であったが、全面を石敷きに整備し、車いすでも通行できるようになった。しかし、近年のアルミ製の軽量小型の車いすやベビーカーの普及に伴い、石敷きの目地に車輪が挟まり通行しにくいという問題が起こるようになったため、中央部には石の目地が狭く、表面が平坦な石敷きの通路を敷設している。

【スロープの設置による大仏殿への車いす・ベビーカー用のルートの整備】

- ◆大仏殿本殿・本殿内部への廻廊経由のアクセス経路を整備している。



車いす・ベビーカー用ルートの入口・出口のスロープ

車いす・ベビーカー用の入口が通常の入堂口から離れているため、車いす・ベビーカー用のルート入口にはインターホンを配置し、拝観受付から案内やサポート等を行っている。



車いす・ベビーカー用ルートから見た南大門

車いす・ベビーカー用のルートは、通常の参拝ルートとは異なる廻廊を巡る道順を設定している。

薬師寺

奈良県奈良市

視 聴 肢 子 外

【文化財を傷つけないよう配慮したスロープや階段等の設置】

◆急な階段部分や段差部分には仮設の手すりやスロープを設置し、文化財を守りながらもバリアフリー化に取り組んでいる。



基壇への仮設スロープの設置

高い基壇を持つ堂にスロープを設置することで、車いすでも簡単に入堂することができるよう工夫している。



文化財保護の工夫

スロープ取付け部分には、使用するクランプと建造物の間にゴム板を挟むことで、文化財を傷つけないよう配慮している。

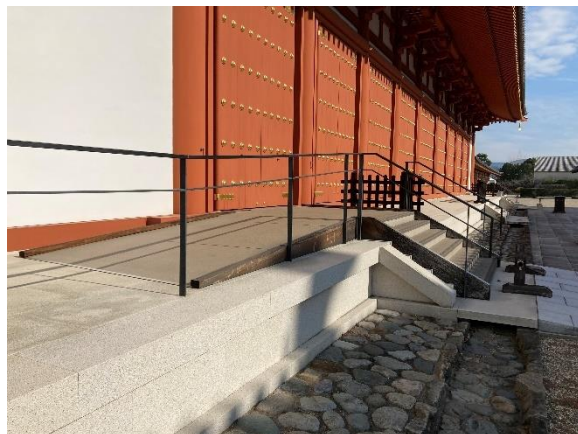
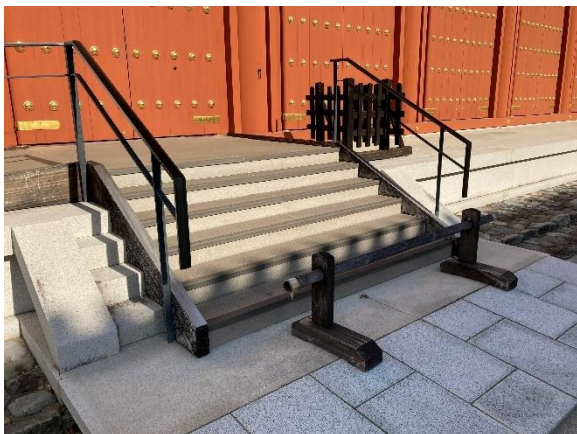


仮設の手すりの設置

文化財を傷つけないよう、建造物の上に石材を置き、その上に手すりを設置している。

【下りスロープの危険性への配慮】

- ◆敷居部分の通行のためにスロープが設置されているが、下った先に階段があるため下りスロープの設置は避け、床面の高さを上げて対応している。



仮設の階段

敷居部分については、急な下りスロープの先に階段があると危険であるため、仮設の階段を設置し、床面の高さを敷居の高さ近くまで上げることで、平坦部分を確保している。また、仮設の階段は、元の階段よりも勾配を緩和している。



仮設の床面

もともとの床面の上に仮設の床を設置している。



仮設の床面及び階段の全体像

仮設の階段には手すりも設置している。

【車いすでも通行しやすい参道の整備】

- ◆車いすでも通行しやすいよう主要な参道はカラー舗装整備とし、石敷きの個所については雨天時にも滑りにくい仕上げとしている。
- ◆車いすでも移動しやすいように、いたるところにスロープが設置されている。



カラー舗装の参道

車いすで通行する際や、雨で砂利道がぬかるんだ際にも通行しやすく、景観にも配慮している。



ジェットバーナー仕上げの御影石

雨天時にも滑りにくいよう、御影石はジェットバーナー仕上げとしている。



各所に設置されたスロープ

【新設の建造物におけるバリアフリー対応】

- ◆敷居部分を仮設の構造とし、拝観時間中はスロープとして車いすも通行できるよう工夫されている。



敷居部分に設置されたスロープ



仮設の敷居を設置した状態

【触れる模型の作成】

◆視覚障害者が手で触れて感じることのできる模型を作成している。



伽藍配置の模型

点字の説明板も作成している。



東塔の心柱の模型

継手部分の構造に触れることができる。

【障害者用駐車場の設置】

◆南駐車場に障害者用の駐車場を設けており、7台駐車可能である。



障害者用駐車場

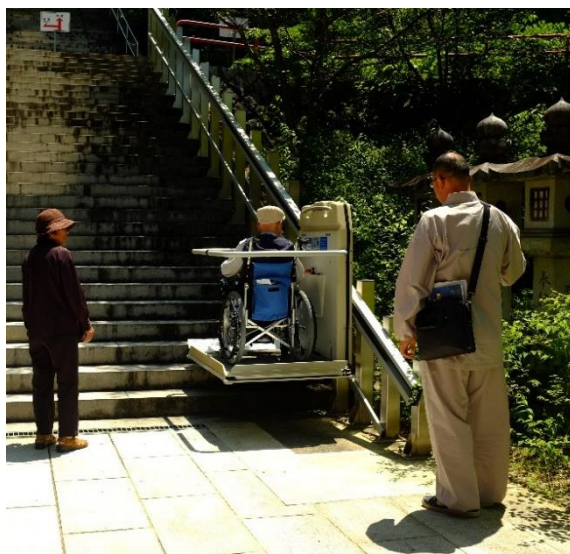
南法華寺（壺阪寺）

奈良県高取町

視 聴 肢 子 外

【階段への車いす利用者乗降用の電動リフトの設置】

- ◆車いす利用者等でも参道を登ることができるよう、参道の傾斜がきつくスロープの設置が難しい部分に電動のリフトを設置している。



電動リフト

参拝者が自由に使用すると故障する場合があるため、利用する方は、設置されているインターフォンで職員を呼び出し、操作は職員が行う。

【景観にも配慮した仮設スロープの設置】

- ◆重要文化財である礼堂へ車いす等で入堂できるよう、景観にも配慮した仮設のスロープを設置している。

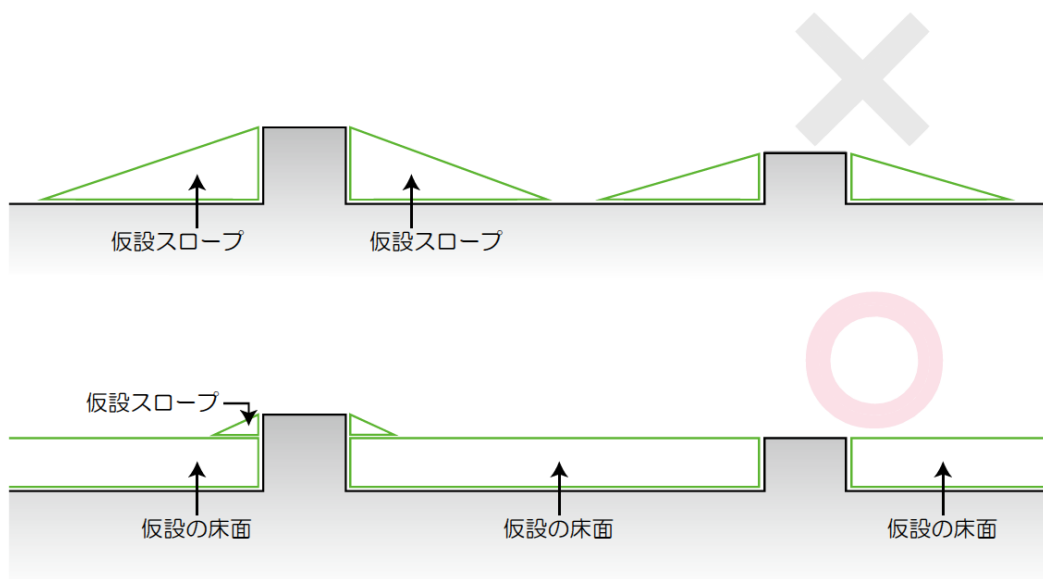


仮設のスロープ

仮設のスロープには、木材や竹等自然の素材を使用することで、文化財の外観とも違和感なく馴染むよう工夫している。

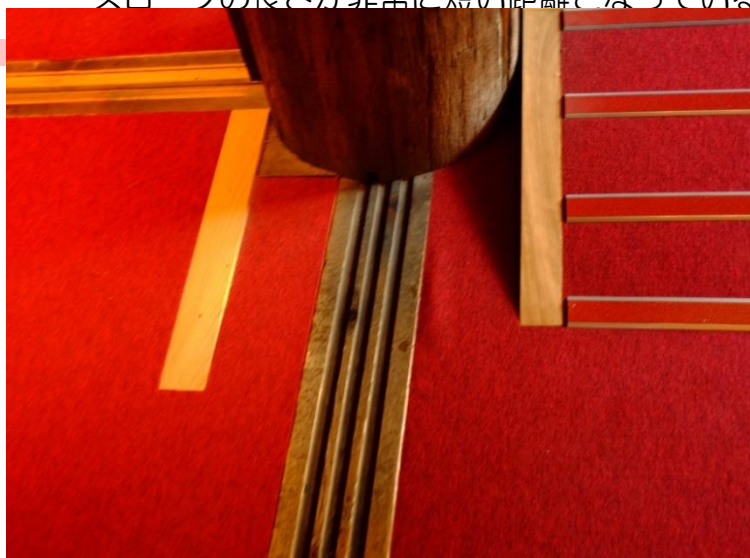
【礼堂内の段差の解消】

- ◆敷居部分等の段差を解消するため、床面の高さを上げることで、車いすでも移動できるよう工夫している。



建物内部の仮設の床面・スロープの設置断面イメージ

建物内部は、仮設の床面の設置により、敷居部分の段差が解消されている。また、敷居の高さの違いから、一部スロープが必要となる部分についても、スロープの長さが非常に短い距離となっている。



礼堂内部の敷居部分

仮設の床面の設置により、敷居部分の段差が解消されている。スロープには滑り止めも設置している。

専修寺

三重県津市

視	聴	肢	子	外
---	---	---	---	---

【景観に配慮したエレベーターの設置】

- ◆重要文化財である如来堂と御影堂に車いすでも入堂できるよう、平成 12 年～20 年に実施された平成の大修理に合わせ、両御堂をつなぐ通天橋の裏側に、エレベーターを設置した。



通天橋裏に設置されたエレベーター

景観に配慮し、重要文化財である両御堂から離れた場所にエレベーターを設置している。

【車いすでも通行しやすい参道の整備】

- ◆景観に配慮しながら、境内の舗装路の整備や段差部分へのスロープの設置を行っており、車いすでも通行しやすい。



石畳の参道脇に整備された舗装路



段差部に設置されたスロープ

清水寺

京都府京都市

視 聴 肢 子 外

【車いすでも通行しやすいルート of 確保】

- ◆ 傾斜地という厳しい条件のもとでも、車いすの方が境内を周遊できるよう、段差のない舗装された参拝路や建物内外の段差を解消するスロープを整備している。



仮設のスロープ

車いすの通行用に屋内に仮設のスロープを設置している。



車いす用の舗装路

屋外も、車いすが通行できるように舗装路を整備している。

【拝観入口付近までの自動車のアクセス経路の確保】

- ◆ 拝観受付付近まで車でアクセスできるように工夫している。



車いす利用者用の降車場

【手で触れられる観音の設置】

- ◆ 手で触れてお参りすることができるふれ愛観音を設置している。



ふれ愛観音

龍安寺

京都府京都市

視 聴 肢 子 外

【手で触れられる石庭の設置】

- ◆25 分の 1 スケールの石庭の模型があり、視覚障害者が触れてその様子を知ることができる。



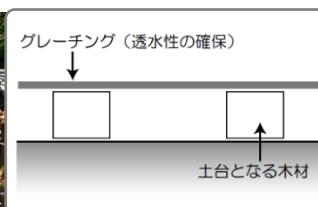
石庭の模型

視覚障害者への配慮として考案され、植木職人が山から適当な石を探し出し、制作された。石の配置や、白砂の模様を再現するとともに、石のサイズも、スケールに合うよう配慮されている。

説明資料として点字の資料も合わせて作成し、設置している。

【車いすの方の石庭までのアクセスの確保】

- ◆通常のルート以外に車いす用の石庭までのルートが確保されており、車いすに乗ったままで石庭を観覧できる。



断面図



坪庭の中に設けた車いす用の石庭までのアクセスルート

樹木を傷つけないよう、樹木医と相談しながら木材の上にグレーチングを設置することで対応している。

車いす用の観覧場所から見た石庭

【おむつ替え、授乳時の部屋の貸出】

- ◆子育て世代への対応として、おむつ替えや授乳時に部屋の貸出を行っている。

京都府京都市

2-22

【車いすの方も堂内を拝観できる環境の整備】

- ◆法務棟 1 階にエレベーターを設置しているとともに、堂内の段差部分へのスロープを設置しているため、車いすの方でも堂内を参拝することができる。



法務棟 1 階エレベーター



堂内の段差部分に設置されたスロープ

写真提供：知恩院

【修理現場見学会への車いすでの参加】

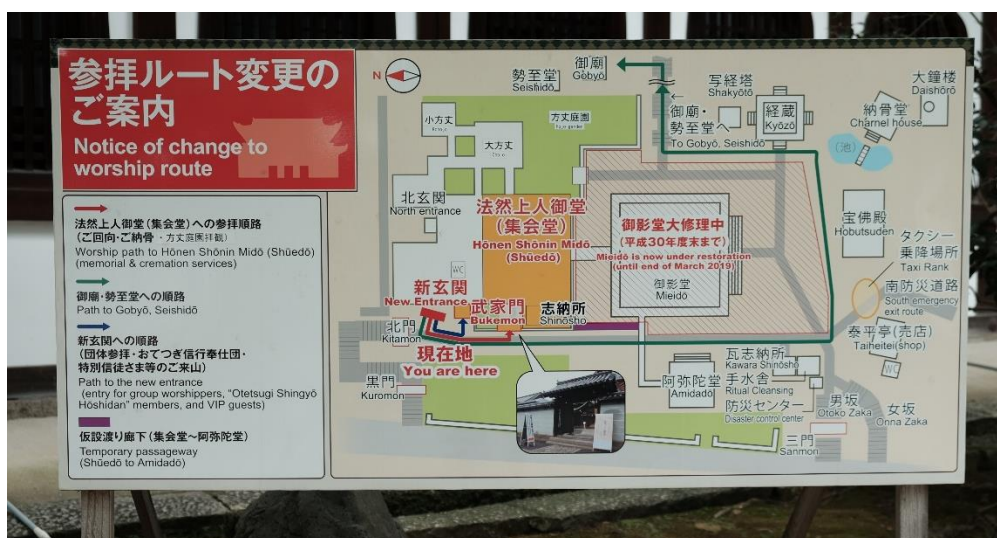
- ◆ 素屋根内部の修理現場に行くことができるエレベーターが設置されているため、車いすの方でも修理現場見学会に参加することができる。



素屋根内部の修理現場に向かうエレベーター

【外国人向けの情報案内】

- ◆ 境内の看板やパンフレット、ホームページ等に英語表記を併記している。



境内に設置された案内板

平等院

京都府宇治市

視	聴	肢	子	外
---	---	---	---	---

【車いすやベビーカーでも参拝しやすい環境の整備】

- ◆鳳凰堂は国宝建造物であるためバリアフリー化には限界があるものの、正門前広場と参道の一体化、駐車場から段差なしに南門などへ移動できるなど、バリアフリー化が進められてきた。
- ◆鳳翔館周辺はゆるやかなスロープ化をはじめ、館内は完全バリアフリー化されている。
- ◆表門前には身障者用駐車場を2台スペースを設置しており、利用の際は到着前に平等院まで電話すれば案内してもらうことができる。



平坦なみちの続く入り口

写真提供：平等院



車いすの貸出

砂利道でも振動が少ないタイプの専用車いすが用意されている。キャスターを含め通常のものより太く押しやすいタイプとなっている。

【子連れでも安心して利用できる環境の整備】

- ◆授乳専用のスペースはないが、職員に声をかければ個室に案内してもらうことができ、オムツ替えベッドは身障者用トイレ内に設置されている。

【鳳翔館内での声掛けの徹底】

- ◆鳳翔館内の B1F、1F 間の移動は通常階段のみのため、車いすの方や杖を使用する方が来館した場合、職員が必ず声掛けをし、エレベーターへ誘導している。

住吉大社

大阪市住吉区

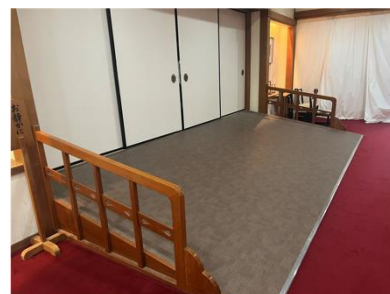
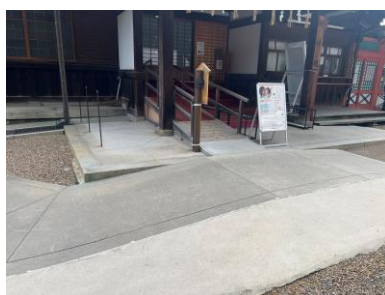
視 聴 肢 子 外

【車いすでも移動可能なルートへの整備】

- ◆北側(祈祷脇)、北・南の駐車場から境内へのルート、祈祷入口などにスロープが設置されている。少し急であるため、同伴者のサポートもしくは職員への声掛けが必要であるが、車いすで参拝することができる。



南駐車場から本殿までの
道に設けたスロープ



各所にスロープを設置

写真提供：住吉大社

【身障者に対応した駐車場やトイレの設置】

- ◆南側駐車場に身障者用の駐車場を設け、身障者優先トイレを近くに設けている。
- ◆建物内のトイレに身障者用のお手洗いを設けている。



身障者用駐車場



身障者優先トイレ



建物内のトイレ

写真提供：住吉大社

【子連れにも対応した設備】

- ◆トイレにはおむつ交換台が設置されており、スタッフに声がけすれば吉祥殿の女性更衣室を、授乳室として利用することができる。

浅草寺

東京都台東区

視	聴	肢	子	外
---	---	---	---	---

【ベビーカーや車いすでも安心して参拝できる設備の整備】

- ◆本堂の左側にエレベーターが設置されており、本堂フロアに着いた先はスロープが整備されている。
- ◆境内は全体的に段差のない石畳になっており、目地も木で埋めてあるので、ベビーカーや車いすのタイヤが引っかかることもなく安心して走行できる。



本堂左側のエレベーター



段差のない石畳



東本願寺

京都市下京区

視 聴 肢 子 外

【車いすやベビーカーでも参拝しやすい環境の整備】

- ◆公開範囲の大部分がバリアフリー化され、エレベーターやスロープが設置されている。
- ◆それぞれのお堂は回廊でつながっており、車いすでまわることが出来る。



エレベーター

地上(舗装路)から回廊(阿弥陀堂の階段上)まで移動可。



お堂へ入るためのスロープ



車いすで通行できる回廊

ほぼ全ての御堂は回廊つながっていて、車いすで巡ることができる



御影堂内部は車いすで入場可能



車いすから届く高さの賽銭箱

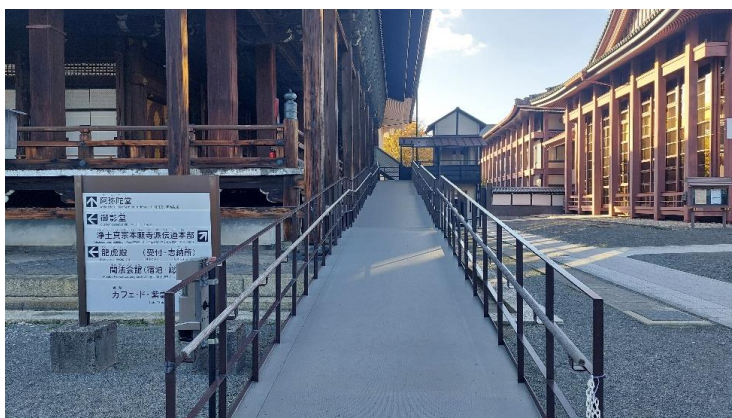
龍谷山 本願寺（西本願寺）

京都市下京区

視 聴 肢 子 外

【高齢者や車いす、ベビーカー利用の方に配慮した環境の整備】

- ◆境内にはスロープだけでなくエレベーターが設置されており、段差などもなく車いす利用者に不便のないよう配慮されている。



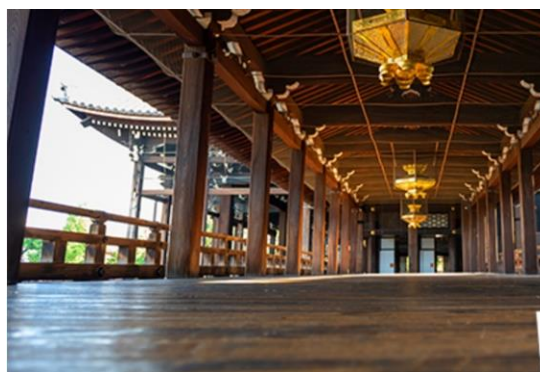
鉄筋仮設スロープ

耐震性を考慮し、高齢者や車いすの方などに対応した仮設スロープを設置。（国宝に指定されているため仮設となっている）

写真提供：西本願寺



椅子席と案内モニター



車いすで通行できる渡廊下



参拝施設（龍虎殿）車いす対応 スロープ・エレベーター

写真提供：西本願寺

【移動しやすい舗装路の敷設】

- ◆各門から各建物に向けて舗装路が敷設され、高齢者や車いす・ベビーカー利用者などが移動しやすいよう工夫されている。



舗装された参道

写真提供：西本願寺

【参拝者向けの情報案内】

- ◆境内の案内図版は4か国語で表記されている。



境内の案内図版

写真提供：西本願寺

善光寺

長野県長野市

視 聴 肢 子 外

【車いすやベビーカーでも移動しやすい環境の整備】

- ◆善光寺のスロープは国宝に付いた初めてのスロープで、本堂本体には手を加えず、仮設建造物の形をとることでスロープの設置に成功している。



本堂(国宝)の価値に配慮した木製の仮設スロープ

スロープを耐久性の高い材料に変更、表面に滑り止めシートを貼付、本堂との出入りをスムーズにできるように位置を調整した。

写真提供：善光寺



本堂(国宝)内陣の畳スロープ



本堂(国宝)お戒壇手摺

写真：文化財の活用のためのバリアフリー化事例集【文化庁】

【本堂スロープ案内板の更新・新設】

- ◆本堂正面及びスロープに設置してあった案内板を更新、さらに参道から見えるように新たに二基を設置した。いずれも日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語で標記している。また一部新設の案内板については、トイレの案内板と合わせた表示にすることで、より分かりやすくしている。



本堂スロープ案内板



トイレの案内と合わせた新設の案内板

写真提供：善光寺

【境内に手造りスロープ設置】

- ◆車いすの走行、歩行者の躓き防止のため、危険個所に手作りのスロープを設置。



境内に設置された手作りスロープ

写真提供：善光寺

【車いすの無料貸出】

- ◆警備室にて車いすを無料で貸し出しており、予め貸出の予約も受け付けている。
また、車いすは安全性に問題が出る前に古い物から順次更新している。

【車いす利用者の移動の負担を軽減する工夫】

- ◆本堂に近く、移動に負担の少ない事務局横に無料の障害者用駐車場を設けている。
- ◆境内北側歩道を舗装し、車いすでの移動を容易にした。

障害者用駐車場



舗装された境内北側歩道

舗装前は、敷いていたカーペットが凸凹していたり、一部は砂利道となっていたため、車いす利用に苦労があった。
歩道を舗装したことで段差が解消し、車いす利用者の行動範囲が広がった。

写真提供：善光寺

【参拝しやすい工夫】

- ◆車いすを利用する方のためのスロープやう回路なども整備され、本堂の賽銭箱は車いすで届く高さに設定されている。

【令和7年度に計画されている参道石畳の改修】

- ◆令和7年度、本堂北西の参道石畳を改修し、車いすによる通行が容易にできるように計画している。

当該箇所を整備することにより、車いすで本堂の周りを巡ることが容易になり、あらゆる角度から本堂を楽しむことができる。



令和7年度に計画されている
石畳の改修

写真提供：善光寺

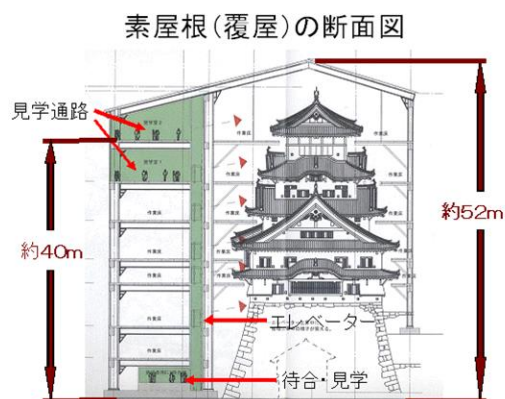
姫路城

兵庫県姫路市

視 聴 肢 子 外

【平成の修理時におけるバリアフリー対応】

- ◆全国初の文化財保存修理の常時見学施設「天空の白鷺」※の開設に際し、エレベーターや身障者用仮設トイレの整備といったハード整備に加え、介助ボランティア等による移動サポートの実施により、車いすでも見学可能な環境が整備された。
- ◆防御施設としての性質上、段差や坂道など移動上の障害を多く有する城郭についても、車いすで見学ができるよう、スロープの設置や路面の補修、電動アシスト付き車いすの導入が行われた。



「天空の白鷺」断面図

画像提供：姫路城総合管理室



施設内のエレベーター

写真提供：姫路城総合管理室



登閣ルート上の路面の補修



登閣ルート上の段差部へのスロープの設置

※「天空の白鷺」は姫路城の大天守本体の工事終了後の2014年（平成26年）1月15日に閉館。

【外国人や聴覚障害者も含め、だれもがより観光を楽しめるサービスの提供】

- ◆特に外国人観光客のためのおもてなし向上のため、無料の Wi-Fi（公衆無線 LAN）環境を整備している。
- ◆英語表記にも対応した「姫路城大発見アプリ」を導入しており、聴覚障害者や外国人観光客も含めだれもが手持ちのスマートフォンやタブレット端末で AR や CG を活用した解説を見ることができる。
- ◆外国人観光客にも姫路城の歴史や構造について知ってもらい、また安心して見学を楽しんでもらえるよう、城内の解説文と案内表記を多言語対応としている。



姫路城大発見アプリ

城内にある AR ポイントにスマートフォンをかざすと、その場所に関する解説等を見ることができる。



解説文と案内表記

写真提供：姫路城総管理室

元離宮二条城

京都府京都市

視 聴 肢 子 外

【車いすで観覧できる環境の整備】

- ◆車いすを利用される方が本丸御殿や二の丸御殿へ入殿できるようにスロープを設置している。また、観覧用車いすの貸出も行っている。



スロープ(本丸御殿)



スロープ(二の丸御殿)



観覧用車いす(本丸御殿)



観覧用車いす(二の丸御殿)

写真提供：二条城



車いす入口(二の丸御殿)

【電動アシスト付き車いすの貸出】

- ◆城内観覧用に電動アシスト付き車いすの貸出を行っており、玉砂利の上でもスムーズに移動することが出来る。



電動アシスト付き車いすの貸出

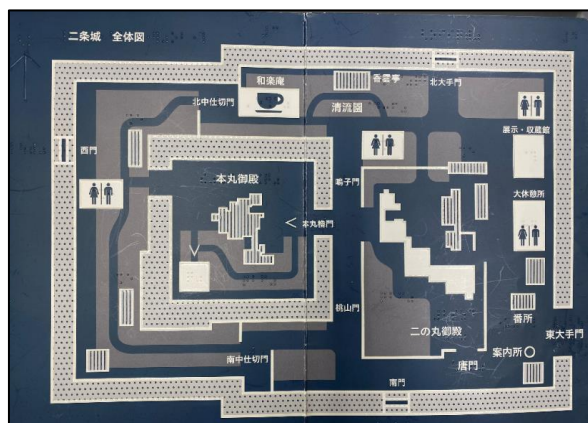
写真提供：二条城

【車いす用のトイレを車いすルートに設置】

- ◆バリアフリートイレは3カ所あり、その内、車いすのルートの途中には、バリアフリーな車いす用のトイレが2カ所設置されている。

【視覚障害のある方用に触地図を作成】

- ◆専用タッチペンで該当箇所を押すと、ペンから音声ガイドが出る仕組みになっており、視覚に障害のある方に貸出をしている。



触地図

写真提供：二条城

松代城跡

長野県長野市

視 聴 肢 子 外

【移動しやすい環境の整備】

- ◆表玄関脇の小玄関に昇降機が設置され、室内用車いすに乗り換えができる。介助者がいればすべて車いすで見学可能となる。
- ◆松代城南及び北の各本丸への入口門にはスロープを設置し、段差の解消と車いす通行への利便性を図っている。



表玄関には昇降機を設置



室内用車いすの貸出



床を保護する敷物

動線には敷物がしてあり、畳の上でも車いすで気兼ねなく移動できる

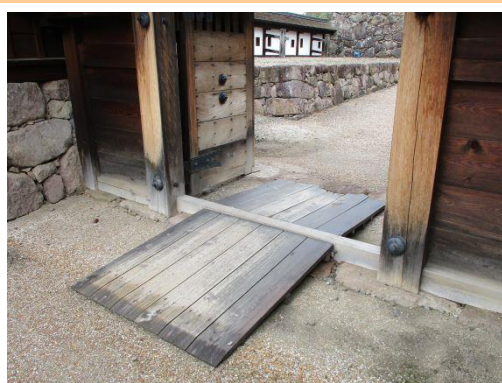


園路にスロープを設置

写真：文化財の活用のためのバリアフリー化事例集【文化庁】



入口門のスロープ



写真提供：松代文化施設等管理事務所

【多機能トイレの設置】

- ◆御殿からアクセスできる多機能トイレが新たに併設され、渡り廊下で接続されている。
- ◆城址内トイレに男女別に多機能トイレを設置し、車いすでも利用可能であり、おむつ交換台も設置されている。



男女別の多機能トイレ

写真提供：松代文化施設等管理事務所

【外国人向け多言語表記の案内板を設置】

- ◆英語、中国語等、日本語の3か国語で表記している。



多言語表記の案内板

写真提供：松代文化施設等管理事務所

大阪府営 大泉緑地

大阪府堺市

視 聴 肢 子 外

【あらゆる方が草花を身近に感じられるふれあいの庭】

- ◆視覚障害者に加え、車いすの方や健常者など、様々な方が一緒に楽しめる場所を目指し、以前設置されていた盲人の庭をふれあいの庭としてリニューアルした。
- ◆視覚障害者への対応としての五感（音、香り、色、触覚、味覚）の活用や、車いすの方への対応として 70cm 前後の高さの花壇を設けて植物や修景池の水、彫刻などに触れられるようにするなど工夫している
- ◆ふれあいの庭にセンサー式の音声案内を設置し、人が前を通過すると音声による案内が開始されるようになっている。



ふれあいの庭

エントランス部分には庭の構成や誘導方法、見ることのできる花の名前等を説明する触知板があり、園内には視覚障害者誘導用ブロックや各庭を説明する触知板が設置されている。



センサー式の音声案内

写真提供：大泉緑地

【子育て世代も安心して利用できる赤ちゃんルーム】

- ◆子育て世代が授乳等の際に利用できる赤ちゃんルームを設置している。

【ボランティアグループとの連携】

- ◆障害者などひとりで公園を利用することが難しい方のため、車いすの移動補助や安全な誘導など公園の利用をサポートするヒーリングガーデナークラブが活動している。

※ヒーリングガーデナークラブとは…大阪府土木部公園課が始めた公園ボランティア養成講座の修了生によるボランティア団体

【車いすの貸出】

- ◆管理事務所とスポーツハウスにて車いすの貸出をしている。



車いすの貸出

写真提供：大泉緑地

【外国人への対応としてポケットークを設置】

- ◆外国人の方への対応するため、受付窓口にポケットークを設置。



受付窓口に設置したポケットーク

写真提供：大泉緑地

【車いす・シニアカー・ベビーカーなどでも来園しやすい配慮】

- ◆4か所の公園出入口において車止めを9:30～16:30まで取り外し、車いす・シニアカー・ベビーカーなどでも来園しやすくしている。



公園出入口の車止めの取り外し

写真提供：大泉緑地

【休憩所の建物に車いす用リフターの設置】

- ◆中央休憩所の建物（2階に）に車いす用のリフター（エレベーター）を設置し、車いすの方も利用できるよう配慮されている。



車いす用のリフター（エレベーター）

写真提供：大泉緑地

全国手話研修センター コミュニティ嵯峨野

京都府京都市

視	聴	肢	子	外
---	---	---	---	---

【ハードとソフト両面からの聴覚障害者への対応】

- ◆館内放送や緊急時の連絡等、聴覚障害者にとって必要な情報が提供されるよう、ハード面での整備とともに、手話による対応等ソフト面からもバリアフリー化に取り組んでいる。

○ハード面からの対応



客室のフラッシュベル

呼び鈴がなった際や緊急時にフラッシュが点滅する。



バイブ機能付きアラーム

バイブ機能付きのアラームを貸し出しており、寝ている間の緊急の案内も受信してベッドを振動させることができる。



デジタル式の時計

廊下や各会議室の時計はデジタル式となっており、館内放送や緊急の際は文字情報を表示する。



アイドラゴンII

アイドラゴンⅡ（「目で聴くテレビ」CS障害者放送の受信機）が設置されており、テレビで文字放送が受信可能。

○ソフト面からの対応

宿泊施設スタッフは、お客様への対応として最低限必要な、“日付・料金・時間・人数・場所の案内“の手話を学んでおり、接客の際には、人数・時間など間違いやすい部分については筆談も併用しながら臨機応変に対応している。対応ができない場合には、全国手話研修センターに勤める手話通訳士、通訳者の有資格者及び手話検定合格者がフォローを行っている。

なにわ一水

島根県松江市

視 聴 肢 子 外

【異なるタイプのバリアフリー客室】

- ◆『①段差がない（スロープの場合や段差解消機を使用する場合あり）』『②間口が80cm以上ある』『③扉は引き戸（プライバシードアを除く）』を基本とした、異なるタイプのバリアフリー客室がある。
- ◆全ての客室においてバリアフリー状況を調査しており、予約の際に確認することができる。



車いす対応の客室

車いすをご利用できるように扉などの開口は最低80センチある



浴室



オストメイト対応トイレ



洗面台

写真提供：なにわ一水

【館内のバリアフリー】

- ◆通路にスロープや段差解消機を設置し、多目的トイレ（誰でもトイレ）や車いす対応エレベーターの設置など、館内様々な場所がバリアフリーとなっている。



多目的トイレ（誰でもトイレ）



車いすで利用可能な食事会場



段差解消機の設置



車いす兼用エレベーター



写真提供：なにわ一水

【食のバリアフリー】

- ◆アレルギー用のメニューについては、低アレルギーのお料理を提供することが可能。
- ◆また、ベジタリアンやヴィーガンの対応も可能である。
- ◆「一口大」・「きざみ食」・「ミキサー食」・「とろみ食」などもできる限り対応可能となっている。



食物アレルギー対応会席の一例



オリエンタルヴィーガン会席の一例

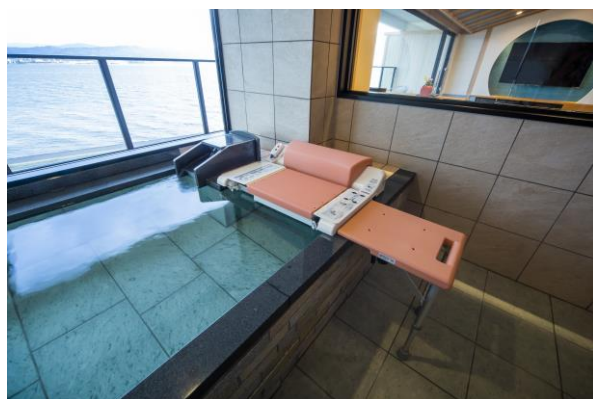
写真提供：なにわ一水

【浴室のバリアフリー】

- ◆大浴場及び脱衣室は段差がなく、大浴場では「リフト付シャワーキャリー」が利用可能となっている。
- ◆手術跡などを隠すバスタイムカバー等の入浴着を着用した入浴・オストメイトの方の利用が可能となっている。
- ◆シャワーキャリーやバスリフトなど入浴の補助器具の貸出をしており、大浴場や客室の浴室で利用することが可能となっている。（客室によって設置できるものは異なる）
- ◆入浴介助サービス（有料）で、安心して温泉を楽しむことができる。



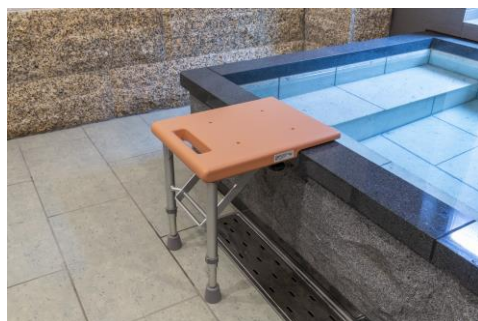
リフト付シャワーキャリー



バリアフリー露天風呂付客室



入浴グリップ



トランスファーボード

写真提供：なにわ一水



大浴場・脱衣場の『誰でもシート』

写真提供：なにわ一水

【ユニバーサルデザイン備品の貸出】

- ◆ベビーバスや高さ調節付浴そう台、浴室用車いすなどユニバーサルデザイン備品の貸出を行なっている。
- ◆介助用車いす、立ち上がり補助手すり、筆談器、ユニバーサルデザイン食器、使い捨て防水シート、ワイヤレスフラッシュチャイムなど様々な介助備品や子供用備品の貸出を行なっている。



浴室用車いす



ベビーバス



バスタイムカバー



筆談器

写真提供：なにわー水



ワイヤレスフラッシュチャイム



【Vgrip(ユニバーサルデザインのナイフとフォークのセット)】

【なにわー水】

車いすの方だけでなく、視覚障害者、聴覚障害者にも対応した、さまざまな取組を行っており、バリアフリー化をしたことにより、稼働率の向上、キャンセル率の減少や従業員の動線の改善などすばらしい効果を生み出している。

16年以上前からバリアフリー・ユニバーサルデザインに取り組んでおり、この度、「温泉旅館のユニバーサルデザイン化」を推進したことが評価され、国内最大のUD推進団体である一般財団法人国際ユニバーサルデザイン協議会主催の「IAUD 国際デザイン賞2020」住宅・建築部門で金賞を受賞した。

旅館やホテルが「IAUD 国際デザイン賞」を受賞したのは、これが初めてとなる。

2024年には、観光からより良い社会をつくることを目的としたジャパントラベルアワードにおいて【アクセシブル部門】【宿泊施設部門】をW受賞した。

障害のある方が暮らしやすい社会をつくることを目的とした「あいサポート運動」などにも積極的に取り組んでおり、全従業員が「あいサポーター」であり、なにわー水も「あいサポート企業」として登録されている。

視覚に障害があるお客様に館内を案内する「触知図」を無料で配布している。また、嗅覚で階（フロア）が判別できる方法を検討し、館内直営スパのアロマセラピストが調合したアロマ（香り）が各階の香りを変える「香りのアテンド」に取り組んでいる。

国立民族学博物館

大阪府吹田市

視 聴 肢 子 外

【車いす利用者でも観覧しやすい工夫】

- ◆車いす利用者の視点でも展示物が見やすくなるよう、展示台や解説板の高さの工夫や、移動が容易になるよう通路幅の確保やスロープの設置を行うなど、車いす利用者への配慮がなされている。



展示台・解説板

車いす利用者の目線の高さに合わせている。



ウォータークーラー

蹴込があるため車いす利用者も使いやすい。



幅の広い通路、スロープ

写真提供：国立民族学博物館



少人数用のみんぱくシアター

「シアタールーム 2～5」

可動式の椅子を使用し、映像を選択するタッチパネルも座って操作しやすい位置に取り付けている。

写真提供：国立民族学博物館

【視覚障害者も展示物を楽しめるような工夫①】

- ◆視覚障害者が館内を巡る際の手助けとなるよう、点字の館内案内図を設置している。
- ◆展示物のうちケース等に入れられていないものは実際に触れて質感等を確かめることができる。
- ◆探究ひろばには、展示資料を見てさわって理解する「世界をさわる」コーナーが設置されているとともに、点字のキャプションやユニバーサルデザインペンを使った音声読み上げ機能が導入されている。
- ◆ボランティア団体による点字体験ワークショップも定期的に行っている。



点字の館内案内図

マップの下部には長さも示されており、館内の広さがつかめるよう工夫されている。



さわれる展示物



探究ひろばのさわる展示物



ボランティアガイド
(みんぱくミュージアムパートナーズ)
視覚障害者向け展示案内サポートを実施している。



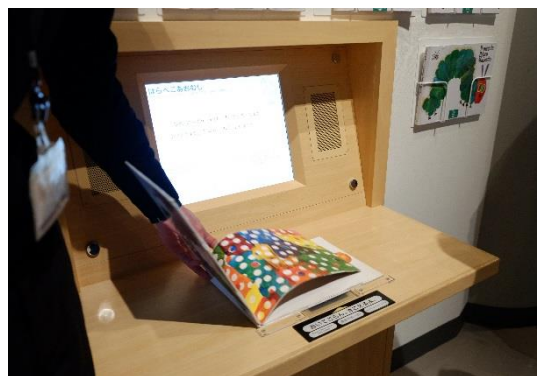
写真提供：国立民族学博物館

【視覚障害者も展示物を楽しめるような工夫②】

- ◆言語展示コーナーには、挿絵の部分が隆起した点字付きの絵本や絵本を置くと自動で読み上げてくれる機械が設置されている。また、点字カードを置くと読み上げてくれる「ことばの箱」等、聴覚でも言語を楽しめるよう工夫されている。
- ◆デジタル触地図はタッチパネルディスプレイ上に設置したフィンガーガイドと音声案内との連動によって、館内の位置情報や展示案内を視覚だけでなく触覚と聴覚から得ることができる。



点字、挿絵等工夫された絵本



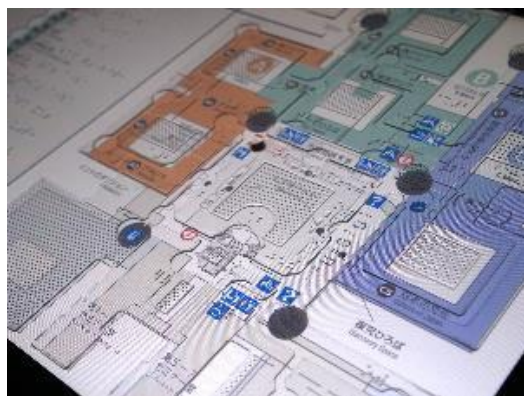
置くと絵本を読み上げてくれる設備



ことばの箱
カードを置くとカードに記載された言葉を読み上げてくれる。



デジタル触地図



写真提供：国立民族学博物館

【だれでも利用できるビデオテークブース】

- ◆障害の有無にかかわらずだれもが利用可能な個別ブースとしている。
- ◆ビデオテークは、世界のさまざまな地域で暮らす人びとの生活や儀礼、芸能などを映像で紹介するシステムで、聴覚に不自由のある方や他言語の話者も楽しめるように、日本語を含む 9 言語に翻訳した字幕付きの番組を作成している。



ビデオテークブース(車いす優先4ブース)



字幕付き映像

写真提供：国立民族学博物館

【だれでも快適に展示を観覧できるシステム】

- ◆自動運転モビリティは、乗車中は足腰のつらさや体力、疲れなどを気にせず、じっくりと展示資料 1 つひとつに集中して観覧いただける取組である。



自動運転モビリティ

あらかじめ定められた鑑賞コースを時速 0.8km 程度（人がゆっくり歩く速さ）で進む。

写真提供：国立民族学博物館

【世界の手話を学ぶことができる】

- ◆言語展示のコーナーでは、世界の言語文化として各国の手話を見ることができる。



各国の手話の映像

【ベビーカーの貸出】

- ◆子育て世代が手ぶらで来てもゆっくりと展示を楽しめるよう、ベビーカーの貸出を行っている。

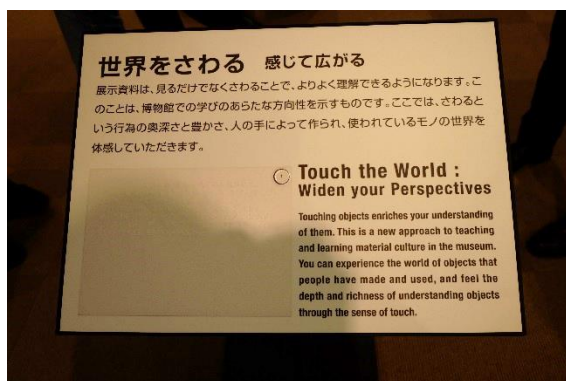


貸出用ベビーカー

ベビーカーの他、車いすも準備されている。

【外国人向けの館内案内や英語対応】

- ◆受付スタッフは英語での対応も可能である。
- ◆館内の説明板は英語も併記され、また 4 か国語対応の電子ガイドも貸し出されている。



英語が併記された解説板



電子ガイド

日本語の他、英語版、中国語版、韓国語版がある。

【展示基本理念に基づく取組】

国立民俗学博物館は「施設と展示内容は最先端の研究に基づく一方で誰もが理解でき、誰に対してもやさしいものであることを基本」としており、「小学生から大学生・大学院生、さらにはハンディキャップをもつ人びとも含めた、広範な利用者の多様な要求に対応できるシステムの構築をめざす」こととしている。

バリアフリー事例集

奈良市 都市整備部 交通バリアフリー推進課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号

TEL : 0742-34-4969

FAX : 0742-34-4933